

PRO MUSICA NIPPONIA



# 日本音楽集団

第149回◆定期演奏会～秋の総合定期～



Arts Plan 21



芸術文化振興基金

1997年11月27日(木) 午後7時開演  
津田ホール

主催：日本音楽集団

〒151 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302

TEL03-3376-4741 FAX03-3376-2033

助成：文化庁・日本芸術文化振興会

舞台芸術振興事業

# プログラム

## 一、新千鳥の曲 (1994年) 秋岸寛久 編曲・尾崎太一 手付

- [ 笛 ] 藤舎理生(助演) [尺 八] I米澤 浩・II加藤秀和  
[三味線] 太田幸子 [琵琶] 山田まゆ美  
[ 箏 ] I宮越圭子・II熊沢栄利子 [十七絃] 大畠菜穂子  
[打楽器] 尾崎太一・望月太喜之丞・立枝恵子

## 二、邦楽器群のための協奏的変容「傀儡曼陀羅」(1996年) 今井重幸 作曲

- [ 笛 ] 藤舎理生 [尺 八] I米澤 浩・II水川寿也  
[三味線] 工藤哲子 [琵琶] 山田まゆ美  
[ 箏 ] I熊沢栄利子・佐藤里美 II久東寿子・高橋はるな  
[十七絃] 宮越圭子・大畠菜穂子  
[打楽器] 望月太喜之丞・立枝恵子  
[指 揮] 稲田 康

————— 休 憩 —————

## 三、箏 譚詩集 II <春> (1970~76年) 三木 稔 作曲

<芽生え> <やよい> <ひばり> <里曲> <華やぎ>

[二十絃箏独奏] 吉村七重

## 四、和楽器のための協奏曲 (委嘱・初演) 佐藤敏直 作曲

- [ 笛 ] 藤舎理生 [尺 八] I米澤 浩・II水川寿也  
[細棹三味線] 太田幸子 [太棹三味線] 田中悠美子 [琵琶] 山田まゆ美  
[ 箏 ] I吉村七重・久東寿子 II熊沢栄利子・佐藤里美  
[十七絃] 宮越圭子・大畠菜穂子  
[打楽器] 望月太喜之丞・立枝恵子  
[指 揮] 田村拓男

## 新千鳥の曲

原曲は箏(本手と替手)と尺八の合奏曲で、器楽のみの部分をはさんで、前後に「千鳥」を詠んだ和歌を歌詞とした歌があり、箏奏者の弾き語りによって歌われます。今回は、それらに笛、三味線、琵琶、十七絃を加え、歌のメロディーも管楽器に移して、純器楽合奏曲にしました。さらに能管、小鼓、大鼓、締太鼓の四拍子による囃子を挿入して全体に、変化と緊張を付与しています。

### 邦楽器群のための協奏的変容 「傀儡曼陀羅」

傀儡とは日本古代の漂泊芸能民の集団で、狩と曲芸に長じ、今様を歌い操り人形を舞わせる傀儡師として諸国を流浪した。その態様に関しては平安時代の大江匡房によって「傀儡子記」に克明に記述されている。その後、義太夫節に合わせる辻芸から慶長年間には人形浄瑠璃の発祥に結び着くのである。

又その源流を辿ると朝鮮半島、そして中国には今も残存する「扁担木偶戲」<sup>へんたん で くぎ</sup>、「斜箭堤陽戲」<sup>しゃせんていようぎ</sup>に到達する。四川省広元の秘境龍江村の李家に今も伝承される祭儀に使われる三十二体の傀儡戯。

八世紀唐の玄宗皇帝の七言絶句にも「傀儡」は登場する。山東省萊西県岱野村の墳墓遺跡の柳室内から発見された大傀儡木偶は西漢時代つまり二千年も前のものであり、同時に発見された七体の殉死者に替えた木桶の中には琴や笛を演じているものがある。

「傀儡曼陀羅」はそのような汎東アジア芸能の二千年にも亘る流転の軌跡と、傀儡子達のヴァイタリティーのイメージを、序章から終章に到る連続する五章(序章；傀儡の発祥、第二章；傀儡の源流、第三章；傀儡の形成、第四章；傀儡の苦難、第五章；傀儡讃歌)で構成。大曼陀羅の視覚表現の構図を邦楽器の音感覚で捉え、それを発展・展開・変容し表現した作品。

### 箏 譚詩集 第二集〈春〉

「箏譚詩集は覚えやすいメロディーやリズムといった、人が素朴に対応できる範囲を決して越えないように心がけた作品で、細かい内容については何も解説を付け加える必要がない。素直に各タイトルを受け取って下さればよいし、想像の飛翔は自由である。」と作曲者は初演のプログラムに書いている。

アンデルセンの〈絵のない絵本〉のように、これらの曲は絵も字もない〈音の絵本〉として聴衆も演奏者も自由にイメージをつくり楽しむだろう。この曲は、これまで気楽に楽しめる曲をあまり持たなかった箏の音楽の中で、二十絃箏の初期の名作として箏の歴史の中に新たな流れと演奏技術を生みだした曲である。

〈芽生え〉は二十絃箏の一つのテーマ曲なのだと思う。そして、〈やよい〉で日本的表現をしみじみと感じ、気紛れ、せっかちなくびり〉によって音で絵を書き、〈里曲〉では箏の音色の柔らかさを穏やかな田舎の風景としている。〈華やぎ〉の序の部分では“ミ”の音を様々な方法で弾いてみる遊びがあり、続くアレグロでのびのびと演奏そのものを楽しむのである。

そして、二十絃箏が作られてから30年近くたった今多くの聴衆や演奏者に愛され続けている。

野坂恵子初演。

(吉村七重)

### 和楽器のための協奏曲

ここに集まってもらった彼ら楽器たちは、どれひとつ取っても西洋のそれに比べて非常に個性的です。言い換えれば個のアイデンティティーが確立していて、他の楽器と安易な妥協をしない主張を既にもっているということになるでしょう。

この作品を「協奏曲」としたのは、それぞれがもっているこれら独自の力の彩りを、伝統的な手法から少し抜け出した形で、お互いに討かわせてやりたかったからです。そしてすべてのメッセージがそこに秘められるような構築性をもった音楽になればなおよいと思いました。

作曲中、その優れた、しかし油断のならない頑固な特性をもった彼らに発言させながら、その仕組みに個性の共存、あるいはもっと広く生き物たちの共存についての思いを寄せていたこともタイトルと関係ある事実です。

単一楽章で、「序奏—速い部分—やや緩やかな部分—再び速い部分」という構成になりました。

(佐藤敏直)

日本音楽集団 (1997年6月より) 最近のおもな活動

- 5月30日(金) メトロポリタン・オペラ歓迎パーティ出演 京王プラザ・ホテル
- 5月31日(土) 柏子ども劇場 柏市民文化会館
- 6月7日(土) 三条公演 三条市中央公民館
- 6月8日(日) 新潟公演 新潟市音楽文化会館
- 6月17日(火) 福井県内学校公演 坂井中学・武生市文化センター
- 6月17日(火)～20日(金) 長崎県内学校巡回公演
- 6月22日(日) 玉村町公演 玉村町文化センター
- 6月25日(水) 東京子ども音楽フェスティバル～ニポポ夢の旅・琵琶と打楽器の競演 大田区民プラザ
- 6月27日(金) 現代日本音楽の展開 国立劇場(大)
- 7月7日(月) 第147回定期演奏会～TA・NA・BA・TA～今宵、めぐり会ふ パナソニック・グローブ座
- 7月19日(土) 東京子ども音楽フェスティバル～竹取物語 ティアラこうとう
- 7月25日(金) 聖徳大学公演レクチャー・コンサート 川並講堂
- 9月9日(火)～20日(土) 栃木県内学校巡回公演
- 9月29日(火) 第148回定期演奏会～水仙考くナルキッソス 津田ホール
- 10月1日(水) 浜松国際音楽の日記念事業'97「竹取物語」 アクティシティ浜松
- 10月2日(木)、3日(金) 長崎県小浜町(小浜町体育館)、千々石町公演(町立第一小学校)
- 10月8日(水) 千葉県立茂原高等学校音楽鑑賞会 茂原市民会館
- 10月13日(月)～15日(水) 成田市内学校巡回公演
- 10月16日(月)～17日(土) 山形県内学校巡回公演
- 11月3日(月) ひびけ七沢の森コンサート 神奈川県立七沢森林公園
- 11月27日(木) 第149回定期演奏会～秋の総合定期 津田ホール

1998年

- 1月25日(日) 「新春邦楽のつどい」に出演(夏の一、華やぎ他) 京都府加茂町あじさいホール
- 1月29日(木) 第150回定期演奏会～ごんぎつね・青少年のための 津田ホール
- 1月31日(土) 愛媛県伝統芸能「ふれあいコンサート」(大津絵幻想他) 御荘町文化センター
- 2月1日(日) 宇和島公演～新春コンサート(尺八協奏曲、「四季」ダンスコン他) 宇和島市庁舎ホール
- 2月3日(火) 千葉県立九十九里高等学校音楽鑑賞会
- 2月5日(木) 関市文化会館音楽鑑賞会 関市文化会館
- 2月7日(土) 山梨県牧丘町公演 牧丘町民文化ホール
- 2月8日(日) 長野オリンピック文化芸術祭'98日本の響きシリーズ(巨火他)  
「日本音楽集団公演“讃歌”」 長野県松本文化会館大ホール
- 2月25日(水)、26日(木) 愛知県犬山市中学校音楽鑑賞会 犬山市民文化会館
- 3月21日(土) 三田親と子の劇場(「四季」ダンスコン他) 三田市市民会館大ホール
- 22日(日) 岸和田おやこ劇場(「四季」ダンスコン他) 岸和田市立文化会館マドカホール
- 28日(土) 小さな音楽会第12回(出演=宮田耕八朗他) 昭島市民会館
- 5月18日(月) 第151回定期演奏会～春の総合定期  
～コンポーザーズ・プロジェクト・シリーズ～広瀬量平氏からのメッセージ 津田ホール
- 24日(日) 千葉県成東町公演 成東町文化会館
- 29日(金) 平成10年度「芸術祭典・京」(音楽舞踊部門) 京都コンサート・ホール(小ホール)

日本音楽集団今後の予定とおもな演奏曲目

## ■ お知らせ ■

### ○インターネットにホームページ開設!!

日本音楽集団の最新情報をお届けするホームページが開設されましたのでご利用ください。

[URL] <http://www.bekkoame.or.jp/ro/promusica>

### ○CSデジタル放送「パーフェクトTV!」今後の放送予定

12月：第148回定期演奏会～水仙考〈ナルキッソス〉

12/3 (水) 14:45～16:00      18(木) 13:30～14:45

8 (月) 11:30～12:45      25(木) 14:45～16:00

15(月) 20:15～21:30      29(月) 12:30～13:45

1998年

1月：第149回定期演奏会～秋の総合定期

2月：1997年総集編

3月：第150回定期演奏会～ごんぎつね—青少年のための

### ○心豊かな文化都市東京を目指すための署名行動

テレビ、新聞などでも報道されていますが、東京都が8月14日に発表した「東京都財政健全化計画実施案」にある「東京都の文化施設使用料の大幅な値上げ案(約2倍)」に対し、多くの芸術・文化団体と共に日本音楽集団も反対署名運動に立ち上がりました。

日本音楽集団が集めた署名数は、1488名(11月19日現在)です。

第1次集約締め切り(11月末日)まで尚一層のご協力を!

### 訃報 野口美恵子氏死去

本団団員で三味線奏者の野口美恵子さんが癌のため10月27日死去致しました。50才でした。野口美恵子さんは、1972年本団の第一期研究団員として入団。1987年にはドイツでの三木稔作曲オペラ「あだ」のドイツ語版初演に三味線と鼓で参加するなど、国内外でリサイタルを行うほか、多くの公演に参加して活躍していました。

ご冥福をお祈りします。



アイ・エム・エス ● 楽器リース ● 保管 ● 移動 ● ステージ・スタッフ派遣

〒167 東京都杉並区上荻 2—3—4

ゆうてんビル

PHONE. 03-3397-2292

FAX. 03-3397-7728

邦楽演奏家

BEST TAKE

# 吉村七重

現代の息吹と爽やかな叙情の流れを形成する  
吉村七重の演奏……  
このアルバムは、吉村七重のこれまでの軌跡と  
未来の曙光を秘めている。

## 箏譚詩集 第二集<春>

二十絃箏のために<Ballades for Koto solo vol.2>

- 1 I. 芽生え<A Young Sprout>
- 2 II. やよい<March>
- 3 III. ひばり<Skylark>
- 4 IV. 里曲<Around my country>
- 5 pre V. 華やぎへの序<Prelude for "the Greeting">
- 6 V. 華やぎ<The Greeting>

## 箏双重<Koto Futae>

- 7 1
- 8 2
- 9 3

12/17  
発売予定

## 箏譚詩集 第三集<夏>

二十絃箏のために<Ballades for Koto solo vol.3>

- 10 I. 露一つ<A Dewdrop>
- 11 II. 南へ<To the South>
- 12 III. サヌールの舞姫<Dancing Girls inSanur>
- 13 IV. 白い風の下で<Under the White Wind>
- 14 V. 雨ざんざん<A Squall>

●CD:VZCG-139 ¥3,150(税込)

**本日予約受付中!!**



<録音:1997年9月5日~6日 ビクター山中湖スタジオ>

(お問い合わせ先) 〒151東京都渋谷区千駄ヶ谷1-14-5(千駄ヶ谷インテスビル7F) TEL.03-5410-7144

ビクター伝統文化振興財団

# 箏

## 二十絃箏

箏を愛するすべての人の繊細な感情を忠実に音に表現するために、楽器の本質を追求した箏

日本音楽集団推薦

# 琴光堂和楽器店

東京都目黒区碑文谷2-19-15 TEL(3792)8481 FAX(3792)8437